



第2弾 72匹登場

深島ねこ図鑑

ニャンと32匹が初顔

佐伯市蒲江の深島で暮らすネコを紹介する「深島ねこ図鑑」の第2弾が完成しました。



深島ねこ図鑑の第2弾



深島ねこ図鑑をアピールする市観光協会職員

【佐伯】佐伯市蒲江の深島で暮らすネコを紹介する「深島ねこ図鑑」の第2弾が完成した。島にすむ96匹のうち72匹が登場。32匹は1年前に作製した第1弾に載っていない初顔だ。写真やイラストをふんだんに使用し、かわいらしいネコたちと島の魅力をPRしている。

図鑑はA5判で市観光協会が作った。72匹の名前や性格、特徴などを島ののびのびと過ごす写真と一緒に掲載。住民のインタビューや島伝統の麦みそ「深島みそ」の作り方なども新たに追加し、前回の約2倍となる72ページにまとめた。

第1弾の売上金の一部や全国から集まった寄付金を使って昨年、島にいる全てのネコに不妊・去勢手術を実施した。第2弾の72匹には「手術済み」を示す切り込みが耳にあり、「協力してくれた人への報告も兼ねている」と同協会。

市役所や市観光案内所など市内6カ所ですべて1600円（税別）で販売している。売り上げの一部は餌代などに使用する。

島は県内で最も南に位置し、「住民の5倍以上のネコがすむ島」として知られる。同協会は「新型コロナウイルスの終息後、図鑑を片手に島を訪れ、散策を楽しんでほしい」と呼び掛けている。

問い合わせは市観光案内所（☎0972・23・3400）。（大津麻菜）

2020年4月13日付
大分合同新聞 11面

① 深島は「住民の（ア）倍以上のネコがすむ島」として知られています。（ア）に入る数字は？

.....5.....

② 第2弾となる今回の図鑑で初登場したネコは何匹？

.....32匹.....

③ 今回、新たに追加された内容は？

.....住民のインタビューや島伝統の麦みそ「深島みそ」の作り方など.....

④ 図鑑を作った観光協会は市民や県民に何と呼び掛けていますか？

.....新型コロナウイルスの終息後、図鑑を片手に島を訪れ、散策を楽しんでほしい.....